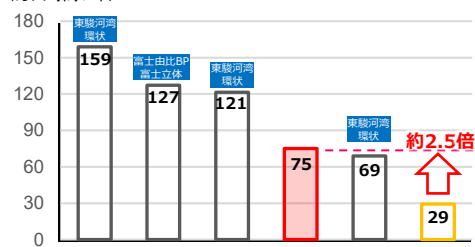


地域の交通課題を踏まえ、政策目標を設定

渋滞緩和による地域交通の円滑化

- ・長沼交差点は、静岡県内の国道1号の渋滞損失時間において、ワースト4位。
- ・（主）山脇大谷線では、鉄道、地域幹線道路との交差により交通が滞留していることから、曲がり切れない国道1号の右左折交通が直進交通の渋滞を悪化。

(万人時間 / 年)



※ **事業名** : 各交差点における渋滞対策の計画

※出典：主要滞滞箇所モニタリングデータ（R3.9-11月データ）

長沼交差点の渋滞

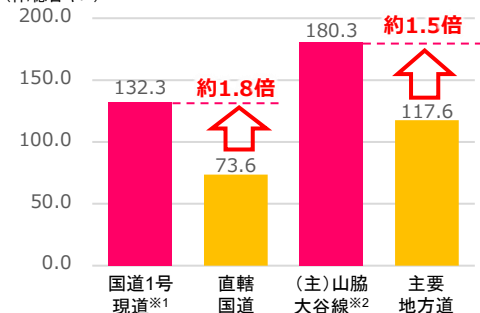


※写真撮影日：R4.8.26(金)18時台

交通安全の確保

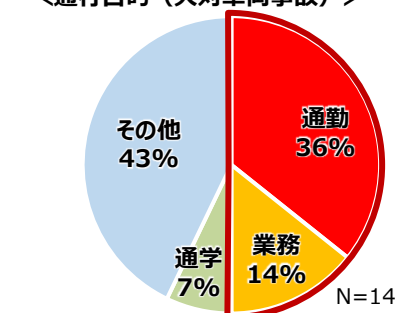
- ・国道1号現道や(主)山脇大谷線は、市内平均と比べ死傷事故率が高い。
- ・長沼交差点の渋滞を避けるため、生活道路に通勤交通等が流入し、人対車両事故が発生。

(件/億台キ口)



※1: 柚木交差点～国吉田交差点間 ※2: 沓谷5丁目南交差点～池田交差点間

＜通行目的（人対車両事故）＞

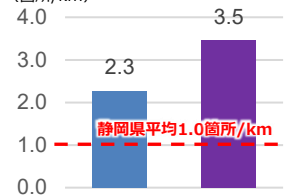


データ：ITARDA（H29-R2）（交通事故・生活道路統合データ）

速達性向上による産業活性化支援

- ・（主）山脇大谷線の大型車は内外・通過交通が多い。
- ・（主）山脇大谷線沿線に企業が集積しているが、沓谷5丁目南交差点→池田交差点の所要時間は、混雑時に2倍以上に増加。
- ・（主）山脇大谷線は信号密度が高く、旅行速度が低下。

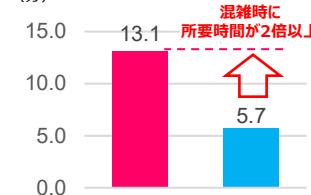
(箇所/km)



(主) 山脇大谷線 評価対象区間

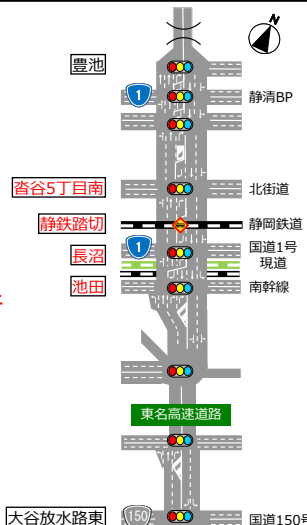
出典：H27全国道路・街路交通情勢調査

(分)



混雜時 (9時分)	非混雜時 (10時分)
○ ●	○ ●

出典：ETC2.0データ（R3.10平日）



信頼性の高いネットワークの確保

- ・（主）山脇大谷線の長沼大橋は、架設後50年以上が経過し老朽化が進行。また、熊本地震で落橋したロッキング橋脚となっており、大地震時に落橋に至る可能性がある構造。
- ・平成29年台風21号により東名および国道1号が通行止めが発生。新東名への迂回路が清水連絡路のみのため交通が集中し渋滞が発生。

交通が集中し速度低下



出典：ETC2.0データ ※センサ対象路線のみ表示 台風21号来襲時：H29.10.23（月）

熊本地震で落橋したロック式橋脚構造の橋



出典：国土交通省HP